

地域戦略に係るロードマップ

地域戦略ビジョン	岐阜大学は、全構成員が地域戦略に係る考え方を共有し、地域と世界を結ぶ視野をもって、全学をあげて組織的に地域戦略を実践するために、将来ビジョンを掲げる。						
(10年間)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34～37年度
中期目標・中期計画	第3期				第4期		
	将来ビジョン策定	将来ビジョンの実行					
地域戦略の中核事業	大学COC事業(平成25年度から) (補助期間:25年度～29年度)		大学COC事業の継続・発展		大学COC事業と大学COC+事業の一体的展開と事業の継続・発展 →「生涯現役・全員参加(多元参加型)社会」の実現 →「経営マネジメント教育」の推進		
	大学COC+事業(平成27年度から) (補助期間:27年度～31年度)						
地域協学センターの体制強化	地域協学センター →COC事業、COC+事業の実施機関				地域協学センター →地域戦略のコントロールタワー、地域志向教育研究拠点、地域創生・地域戦略の総合シンクタンク		
岐阜大学及び全構成員	<ul style="list-style-type: none"> 「地域戦略」のビジョンを理解している。 組織的な支援体制のもと、広い視野から「地域戦略」に係る取組に積極的に参画している。 						
	<ul style="list-style-type: none"> 地域協学センターの体制強化を図る等、「地域活性化の中核的拠点」として継続的・発展的に事業を推進し、地域戦略を総合的に進める体制を整備している。 地域の各種主体と相互に密接に連携し、地域の「絆」・ネットワークの中核に位置している。 地域の課題に対し、複数の学問の協働により学際的に解決を図ろうとする地域志向研究活動(地域志向学)を積極的に推進し、地域の課題解決に貢献している。 地域との対話を創発し多様な人びとが交流できる「場」(フューチャーセンター)を構築し、地域の課題解決に向けた討議や支援を推進している。 地域における各種主体の行う諸活動や政策形成等に積極的に参加と支援を行っている。 地域のサテライト機能を整備して、地域再生及び活性化に繋がる多様な地域活動を展開し、安心・安全な地域の生活基盤の構築に貢献している。 産官学共同研究を推進して、地域産業の振興・発展と地元の雇用創出に貢献している。 高校卒業後の年齢層の伝統型(トラディショナル)の学生に加え、社会人・職業人や退職した高齢者といった非伝統型(ノントラッド)の学生を積極的に受け入れ、全世代対応型大学として「生涯現役社会」の実現に寄与している。 地域における女性・若手人材など多様な人材が活躍できる環境を実現し、そのモデルを提供している。 高度先進医療・救命医療・予防医学等により、地域医療のより一層の充実に貢献している。 						
岐阜大学の学生	<ul style="list-style-type: none"> 地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて行動できる「地域リテラシー」を習得し、地域リーダーとしての基盤的な素養を修得している。 各種の支援を受けて、地域で安心して学びやすい環境で修学・研究し、地域活性化にかかる知識・技能を旺盛に吸収している。 本学で受けた地域志向教育の成果を活かして、地元に着して地域産業の活性化に貢献できる産業リーダーや高度専門職業人として活躍し、地元や地域産業界の発展に貢献している。 						
地域	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層の多様な社会的背景をもった地域住民が、大学が提供する生涯学習の機会を積極的に活用し、自身の教養やスキルを高めている。 地域の職業人・社会人が、大学を活用して、職業教育・訓練等のリカレント教育を進め、キャリアアップを図っている。 地域の各種主体や卒業生が、岐阜大学に愛着と誇りを抱き、大学運営や教育・研究活動を支援している。 地域・自治体が、大学の知を活用して地域の課題解決を進め、地域再生・地域振興に繋げている。 地元産業界が、大学の知的資源を積極的に活用して、新規事業の開拓や事業の拡大・展開に繋げている。 学齢期にある地元の子ども・若者やその保護者が、岐阜大学に憧れと魅力を抱き、地元入学者が増加している。 						

※地域戦略ビジョンは、「岐阜県成長・雇用戦略」と方向性を一にするものである。